

伝承鳩

～文字でつなぐ 人の心～

No.5

- ◆このコーナーではご家族・ご友人などに向けた「作文」「手紙」「作品」などをご紹介します。
- ◆自分の想いを形に残したい、あの人のあの想いや言葉を形に残したい、という方がいらっしゃいましたら、ぜひ左記までご連絡ください。(先着順)
- ◆お寄せいただいた内容が、広報紙への掲載には不適切である場合や指定分量(文字数 500 字程度)を超える場合、掲載をお断りするか、編集のご相談をさせていただくことがあります。また、内容によっては「みんなの広場」の投稿欄などに掲載する場合があります。何卒ご容赦願います。

記憶

比企丘陵が眺められる、自然豊かな鳩山町を第二のふるさとと心に決め、こちらに転居して三十年近くの歳月が流れました。

鳩山に移り住んで間もないある日の事です。私の頭の中にある、常々消したいと思っていた記憶が、何十年かぶりに思い起こされました。寝静まっていた深夜に突然、サイレンのウーウーという音に起こされ、恐怖心が再びよみがえってきたのです。

その記憶とは、四歳の春の事です。昭和二十年三月に起きた東京大空襲は、死者十万人、焼失戸数二十七万戸の被害を出し、下町地域を中心に、東京都の約四十パーセントが焦土と化しました。東京に住む私の家も焼かれ、浅草に住む親類の家へ向かう途中の記憶です。家の近くに神田川があり、焼け出されて逃げてきたのか、川にはたくさん人の屍が浮いていました。川端では、我が子の屍を抱き、泣き崩れている親の姿。それはこの世の物とは思えませんでした。それが幼い私の心の奥深くに入り込んでしまったのです。

鳩山に転居してきた当時は、火災発生のお知らせがこのサイレンの音でした。今は仕組みが変わり、あのサイレンを聞かなくて良いのでありがたいです。

戦争とは、私にとって、不可解このうえないものです。皆さんが、私のようなトラウマを持つことなく過ごせることを、切に願っております。

T・K

人口と世帯

5月1日現在、()は対前月比

人口	14,414人	(- 20)
男	7,096人	(- 12)
女	7,318人	(- 8)
世帯	5,888世帯	(- 3)
4月の出生数	2人	

6月の納税・納付

町・県民税	(第1期)
国民健康保険税	(随期)
後期高齢者医療保険料	(随期)
介護保険料	(随期)

●納期限を過ぎないように、コンビニ納付や口座振替をご利用ください。

編集・室

今月号の編集期間は、ゴールデンウィークを挟んでいたため、私も少し息抜きをさせていただきました。

外に出ると、新たな発見がたくさんありますが、例えば外に出られなくても、現在はさまざまな媒体から情報を得ることができます。もちろん、現地で聞きし、肌で感じる空気感とは、そこに行かなければ味わえないものですが、自分の身は一つ。世界に点在するさまざまな

スポットを、一度きりの人生で回りきるのは困難でしょう。

自分が行けない所に、少し行った気になれる「情報社会」は、危惧されるような悪い面ばかりではないと私は思います。

さて、今年、5月5日に泉井地内で行われた「金澤寺花祭り」に、娘を連れて初めてお邪魔しました。まずは身の回りから、行ける所から。情報を集めることが、新発見への第一歩になるはず。⑧

広報写真で振り返る町の歴史 ⑬



平成14年7月1日
文化財展示室オープン

鳩山中学校内(現在は多世代活動センター内に移動)に、鳩山の歴史を学べる文化財展示室が開設した様子が伝えられています。【平成14年7月(No.359)号より】